

位置情報共有アプリで面識のない人とつながることの危険性

位置情報共有アプリで面識のない人とつながることの危険性

夏休みに入ると、スマートフォンやタブレット端末等に触れる時間が長くなります。位置情報共有アプリは待ち合わせや災害時の安否確認などに使えて大変便利な反面、面識のない日とつながってトラブルに巻き込まれてしまう可能性もあります。お子さんと一緒にアプリの設定を見直してみましょう。

〔位置情報共有アプリの機能について〕

位置情報共有アプリで他の利用者と友だちとしてつながると、右のイラストのように、たがいの現在位置を確認し合うことができます。また、サービスごとに違いはありますが、位置情報共有アプリには以下のような機能もあります。

- ・ 滞在時間の表示
- ・ 滞在している場所のアイコン表示
- ・ つながった相手とのメッセージのやりとり
- ・ つながった相手のスマートフォンの電池残量表示



〔子供たちが面識のない人とつながってしまうことも・・・〕

インターネット上の他のサービスで知り合い仲良くなった人から一緒に使おうと誘われたり、自分のアプリのIDをSNS上などで公開して友だちを募集したりして、子供たちが面識のない人と位置情報共有アプリで友だちとつながってしまうケースがあります。

しかし、位置情報共有アプリでは、相手の家や学校、行動パターンなどが簡単にわかってしまうため、面識のない人とつながるのはとても危険です。面識のない人と友だちとしてつながったことで、ストーカー被害を受けたり、家に来られて暴行被害を受けたりしたという事件も実際に起きています。



夕方からずっとここに いるから、ここが A子ちゃんの家だな。

位置情報共有アプリではさまざまな情報が相手に筒抜けになるので、面識のない人とつながると事件に巻き込まれてしまう危険性があります。そのことを子供たちに理解させ、面識のない人とは絶対に友だちにならないように伝えてください。また、自分のアプリのIDをインターネット上に載せないように注意しておくことも必要です。